

## 「癌」を一年間放置?する

ほとんどの方は健診に付随して「がん検診」も受けたことがあると思います。陽性に出て要精密検査の通知が来た方もいるでしょう。きちんと精密検査は受けられたでしょうか。

健診をしていると、要精密検査の通知をあまり考えずに放置している方も多くいます。これは、検査に費やした時間・労力・お金を無駄にしている、だけでは済まない話です。



### 「がん検診」をするのは何故か

ご存知の通り、癌は発見が遅れると助かりません。症状が出てからでは既に手遅れになっていることがあります。だから早期発見と早期治療が重要と言われるのです。

そのために「がん検診」が行われるようになりました。症状が出る前に「早く見つける」ためです。肺癌・大腸癌・胃癌・前立腺癌・乳癌・子宮癌など、頻度の高い癌で行われています。

### 「がん検診」の仕組み

手間がかかり高価でもある精密な検査を症状もない全員にするわけにはいきません。なので、まず安価で簡易な検査で対象を絞ります。そこで陽性になった人は癌の可能性がより高い危険群ということで、精密検査に進むわけです。

例えば大腸癌で考えてみます。まず二日分の便潜血を検査キットで調べます。どちらかでも陽性に出れば危険のサインで、大腸癌があるかもしれない危険群に含まれます。その群の人に的を絞って、精密な検査である大腸カメラを実施して調べることになります。

### 放置していいのか

癌があるかどうかは精密検査しないとわかりません。しかし、もし癌がありながら精密検査しなかったら、早期発見の機会を棒に振り、癌が進行して発見されることになります。

あるデータでは大腸がん検診の受診者1万人の内、陽性者は607人、その中で精密検査を受けた人が417人で、実際に癌が見つかったのは17人という割合でした。問題は精密検査を受けなかった190人中で7~8人は癌があったはず(割合的に)、ということです。

繰り返しますが、症状が出てからでは遅いわけです。翌年では「早く見つける」事は出来ず、手遅れになっているかもしれません。今まで大丈夫だったよ、という人はたまたま癌でなかっただけで、偶然です。放置して後に癌が進んだ状態で見つかる人は毎年、一定数います(当然ながら私自身も今までに複数回、見たことがあります)。

### 必要な時は精密検査まで受けましょう。

対象を絞る簡易検査だけでなく、その後の精密検査も受けてください。

最初の検査を受ける際には、後の精密検査も想定しておいてください。推奨年齢の方にはきちんと「がん検診」を受けてもらいたいと共に、必要なときは早めに精密検査を受けていただきたいです。

「がん検診」の目的は何か、なぜ自分は受けたのか、意識をしましょう。

